

伊奈町と南会津町との災害時における相互応援に関する協定

伊奈町と南会津町とは、災害時における応援対策及び復旧対策（以下「応急対策等」という。）に係る相互応援に関し、次のとおり協定を締結する。

（協定の趣旨）

第1条 この協定は、伊奈町と南会津町（以下「両自治体」という。）のいずれかの地域で、地震、風水害その他の災害等による大規模な災害が発生した場合において、応援対策等の相互応援に関し、必要な事項を定めるものとする。

（応援の種類）

第2条 この協定による応援の種類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 食料、飲料水及び生活必需物資並びにその供給に必要な資機材の提供
- (2) 被災者の救出、医療、防疫、施設の応急復旧等に必要な資機材及び物資の提供
- (3) 救援及び救助活動に必要な車両等の提供
- (4) 救助及び応急復旧に必要な職員の派遣
- (5) 避難が必要な被災者の受け入れ
- (6) 町役場の機能確保のために必要な施設・設備の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、特に要請のあった事項

（応援要請の窓口）

第3条 両自治体は、あらかじめ相互応援に関する連絡担当窓口を定め、災害が発生した場合は、速やかに連絡するとともに、必要な情報を相互に交換するものとする。

（応援の要請）

第4条 両自治体は、応援を要請しようとする場合は、次に掲げる事項を明らかにして、電話等により応援を要請し、その後速やかに要請文書を提出するものとする。

- (1) 被害の状況
- (2) 応援の種類
- (3) 応援の具体的な内容及び必要性
- (4) 応援を希望する期間
- (5) 応援場所及び応援場所への経路
- (6) 前各号に掲げるもののほか、必要な事項

（応援の実施）

第5条 両自治体は、前条の規定により要請を受けた場合は、その内容に従い応援を実施するよう努めるものとする。ただし、特別の事情により応援できない場合は、その旨を速やかに電話等により連絡するものとする。

（応援物資等の輸送）

第6条 応急物資、応援職員等の輸送については、原則として応援要請を受けた側が行うものとする。

(経費の負担)

第7条 応援に関する経費（輸送費を含む。）は、原則として応援要請をした側が負担するものとし、これにより難いときは、両自治体が協議して定めるものとする。

(損害補償等)

第8条 応援業務に従事した職員が、その業務により死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり、又は障害の状態となった場合の本人、又はその遺族若しくは被扶養者に対する損害補償については、原則として応援要請を受けた側が行うものとする。

2 応援業務に従事した職員が、業務上第三者に損害を与えた場合において、その損害が応援業務の従事中に生じたものについては応援要請をした側が、応援要請への往復途中において生じたものについては、応援要請を受けた側が、その賠償の責めを負うものとする。

(協議)

第9条 この協定に定めのない事項、又は疑義が生じた場合は、両自治体が協議の上定めるものとする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、両自治体署名の上、各1通を保有する。

令和5年5月13日



埼玉県北足立郡伊奈町中央四丁目355番地

伊奈町

伊奈町長

大島 清



福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531番地1

南会津町

南会津町長

渡部 正義